

第2回 東区体育施設等指定管理者申請者評価会議
新潟市庭球場公開プレゼンテーション 議事録

- 1 開催日時 令和5年10月25日(水)午後2時～午後2時40分
2 会場 東区役所会議室A
3 出席者 評価会議委員：饒村 悠子、渡邊 稔、大庭 昌昭、長谷部 幸雄
事務局／司会：東区役所地域課

4 傍聴者 0人

5 要旨

(1) 開会

(事務局)

ただいまより、申請者「公益財団法人新潟市開発公社」様による新潟市庭球場プレゼンテーションを開始します。なお、プレゼンテーションの時間は15分です。終了3分前と1分前にそれぞれ呼び鈴を1回鳴らします。時間がきましたら2回呼び鈴を鳴らして終了となります。その後ヒアリング時間は15分となっております。また、会議内容を記録するため、事務局で録音をさせていただきますのでご了承ください。

それではプレゼンテーションを開始します。

(2) 公益財団法人新潟市開発公社によるプレゼンテーション (省略)

(3) 質疑応答

(大庭委員)

利用者数について、これまでのコロナ禍5年間の利用者数の推移を教えてください。

(申請者)

利用者数は、平成30年には8万7千人、令和元年には6万6千人、令和2年には5万人、令和3年には6万1千人、昨年度は6万8千人と推移しています。

(大庭委員)

元の利用者数には戻りそうですか。

(申請者)

まだ平成30年の利用者数までは戻りきらない状況ですが、少しずつ戻ってきています。

(大庭委員)

今後5年間の利用者数は見込どうですか。

(申請者)

平成30年は8万7千人の利用者がいましたので、そこまで行けるようにイベントや

新たなスポーツ教室の開催を実施して、令和10年には9万人を目指します。

(大庭委員)

新たな利用者はどう考えていますか。

(申請者)

新たな利用者について、テニスを始めたいと思っている方については、単発のお試し教室開催や親子をターゲットにした教室開催を考えています。施設が少し分かりづらい場所にありますので、施設のPRも行っていきます。

(饒村委員)

管理経費の適正把握・環境保護への取組について、環境保護の取組は素晴らしいと感じました。ただ昨今、人件費や光熱費が高騰している中で、管理費削減が難しいと思います。この3年くらいの間で具体的に削減したことはありますか。

(申請者)

管理費は高騰していて厳しいところがありますが、グループウェアの活用による極力ペーパーレスへの対応や施設間でのやり取りを行い経費削減しています。

(饒村委員)

収支計画で本部経費を計上されていたと思いますが、削減されたとすると、そのあたりですか。

(申請者)

本部経費は、本財団のスポーツプロモーション課など本部に係る経費ですが、施設に係る経費がなかなか削減することは難しいので、そちら本部に係る経費をなるべく削減していきます。

(渡邊委員)

職員の配置のことで、パート職員の採用募集の方法と1日辺りの勤務時間と人数を教えてください。

(申請者)

採用募集については、一番反響があるのが、施設のホームページなので、そちらで募集をかけています。そこで賄いきれない部分は、ハローワークなど募集をかけている状況です。また、パート勤務の労働時間と職員数については、現在庭球場は3名おり、早番・中番・遅番で週3日ないし4日で勤務しています。

(大庭委員)

全ての世代にスポーツ教室を提供とあるが、7歳から18歳の就学世代の枠組みがありますが、18歳から65歳の枠組みが一括になっているのが気になります。その中でもターゲットの組み方があると思います。これは利用者が増えてくることと関わると思います。

が、施設を運営してみて感じていることはありますか。

(申請者)

ターゲットの置き方はざっくりしていますが、現在ジュニアの低学年高学年と中学生の教室、それとシニアの教室と刻んで教室を組んでいます。それに加えて親子の教室といった形で組んでいます。それと、我々公共スポーツ施設は、初心者をターゲットにしており、高校生くらいになると、部活や民間のクラブとかメインになってきます。新潟市のテニス協会とはターゲットのすみ分けをしてきています。

以上終了